慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	池井, 優(Ikei, Masaru)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1990
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.63, No.12 (1990. 12) ,p.411- 411
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	金子芳雄教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19901228-0411

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

法学研究会では、定年により退職される専任教授に対し、記念論文集を特集して献呈することを恒例としている。本号は金子芳雄教授が定年退職になられたのに因み、ここに法学研究の特集号を以って、先生の御退職記念の論文集とすることになった。

金子先生が本塾大学法学部法律学科を御卒業になったのは昭和二五年三月であり、以後四〇年にわたって研究・教育、さらに行政面でも少なからぬ業績を、法学部及び慶應義塾に残された。

御研究の分野については巻末の主要著作目録に譲り、ここでは行政面、特に体育会との関係に触れてみたい。金子先生と体育会の出会いは初代会長であった石川忠雄現塾長から引き継いだ「丘の上硬式野球部」に始まり、昭和四〇年には体育会ヨット部部長、四八年から六三年まで体育会理事、さらに体育会顧問と、昭和二五年に大学を卒業してから退職の平成二年春まで様々な形で体育会と関わってこられた。ヨット部の部長時代は全日本大学選手権を部が獲得、体育会理事在任中は、体育会野球部が二六シーズン振りの優勝、しかも一〇勝一引分という完全優勝を果し、塾長と共にオープンカーに乗って神宮絵画館前から三田までパレードをするという幸運に恵まれた。その年は、ラグビー部も学生チャンピオンになったのみならず、社会人のトヨタを破って日本一となって体育会理事冥利に尽きる時を過された。

体育会理事をしていいことが三つあると金子先生は冗談混りにおっしゃる。「一つは慶應のチームが出場する試合を一番いい席で見られるということ、二つ目は死んだ時に部員にお棺をかついでもらえること、三つ目は血の気の多いのがそろっているので輸血の時に助かるということ」。とにかく「欲得抜きで明るく楽しくできる仕事」であった体育会理事生活を全うされた先生は幸せであった。

また学部長補佐・人事委員長として参謀としての力も大いに発揮された。

エネルギー法のパイオニアである藤原淳一郎教授、租税法と行政法に取り組む木村弘之亮教授の二人の後継者にも恵まれ、二人のお子様も慶應義塾で学ばれると共に御子息は体育会で活躍され御卒業。今後は後顧の憂いなく関東学園大学で法学部長として腕をふるわれることを心より願っている。

法学研究編集委員会　池井　優